

岩手県大槌町「町中心部における大学発ベンチャーと連携した土地活用の推進」

目的・背景

大学発ベンチャーと連携した町中心部の未利用地の利活用方策を検討

- 町の中心部において、約5haが未利用地として残っており、移住定住の重要な要素である若年層にとって魅力ある就労や活動の場の創出が急務。
- 新しい価値をもたらす大学発ベンチャーと町内の事業者が連携した土地活用と産業創出の方策を検討。

位置図



航空写真



取組とその効果

- 大学発ベンチャーに精通するコンサルタントとの連携により、町の特性と親和性があり将来性のある**大学発ベンチャー2社***との協働を実現。2社は積極的な意向を表明し、継続的な関係を構築。
 ※(株)TOWING (高機能土壌)、(株)グリラス (昆虫食)
- 町民を主体とする勉強会や実証実験を実施し、**大学発ベンチャーとの関係づくりを含めた未利用地活用の枠組みを構築**。勉強会や実証実験を契機として、**町民に対して未利用地の問題と新たな産業育成の意識を醸成**。

取組の様子



勉強会の開催

取組経過

- 6～9月 未利用地の地権者アンケート結果の分析等による地域特性の整理と、その特徴を活かせる**大学発ベンチャーの抽出・選定**
- 9～12月 町民を主体とする組織による勉強会を開催し、町民や町の産業と大学発ベンチャーとの親和性を確認
- 12～2月 **実証実験を実施し、大学発ベンチャーと連携した事業展開と未利用地の活用に向けた方向性を検討**

取組成果

【実証実験】2社と町民関係者との親和性テスト

- 日時：2023年1月21日 10:00～15:00
- 場所：ショッピングセンター マスト
- 規模：町内外 住民 約80名



実証実験の実施



アンケート票

ステップ1. 小規模プロジェクトの選定

目的：長期視点の本格的な進出に資するため必要となる小規模プロジェクトを選定する。

※SDG s 花壇等が有望

期間：R05年度 4月～7月

実行項目：両社（特にTOWING社）が先行して展開するプロジェクトについての視察・ヒアリングを行い、事業成功に向けたポイントを抽出し、実行計画を策定する。

ステップ2. 町方を巻き込んだ展開

目的：小規模事業成功による長期投資の呼び込み。

期間：R05～R07年度の3年間

実行項目：小規模プロジェクトの実行と評価。

昆虫食商品開発・展開



SDG s 花壇



計画策定 (R05.04～R05.07)

小規模事業展開 (R05.08～R08.03)

本格的な投資 (R08.04以降)

今後の方向性案

今後の方向性

- 町中心部において**大学発ベンチャーの活動を具体的に進め（住民参加型の花壇・農園等を想定）、大学発ベンチャーと町民との関係を深化、町内の担い手発掘につなげる**
- 段階的な事業展開を想定し、必要な町の支援策を検討・実施**